

# 平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

仏向地域ケアプラザ

## 2 事業計画

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

横浜市仏向地域ケアプラザは仏向町、仏向西、坂本町を担当エリアとしています。坂が多い地域で住民の多くが車やミニバスの公共交通機関を利用しています。地域的に人口増加が進んでおり、30～40歳代の若いファミリー層の増加が見られます。それと同時に高齢化率も上昇しており、若い世代と高齢世代の世代間交流をいかに行っていくかが地域課題の一つとしてあげられます。

第二期地域福祉保健計画では地区連合町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷区社会福祉協議会と一緒に懇談会を開催し、それぞれの地域が抱える問題の抽出を行いました。抽出された問題のひとつとして、認知症の一人暮らし高齢者が増加している現状があり、認知症に関する理解を深めることを地域の課題とし、勉強会や地域のお祭りを通じて認知症に対する理解を深める取組みを行ってきました。

仏向地区は山坂が多く、高齢者の外出支援も大きな課題としてあげられます。

#### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

##### （目標）

総合相談窓口としての周知徹底と包括3支援センター3職種それぞれが専門性を活かして連携することで、相談機能の充実を図ります。

総合相談窓口としてのケアプラザの周知を引き続き図ると共に、かねてからの課題である出張相談実施に向けて、各地域のニーズ調査を進めていきます。

##### （具体的な計画）

①昨年度まで行ってきたものに加え、地域ケア会議や民生CM連絡会等の包括主導の会議等の場も利用し、総合相談先としてのケアプラザの存在を引き続き周知していきます。

②包括支援センター3職種と生活支援コーディネーターが協働し、総合相談票の分析や自治会町内会役員への聴き取り等を通してニーズ調査を行います。

③個人情報に配慮しながら、必要に応じて民生委員・児童委員と相談対応状況を報告・共有することや協議会への出席を通し、民生委員・児童委員との関係性強化に努めます。これによって、直接ケアプラザに相談に来られない方でも、民生委員・児童委員を通してケアプラザが把握できる状況を作っていきます。

## (2) 各事業の連携

### (目標)

各職種が協働で地域ニーズの把握、共有を行い、課題解決に向けた事業展開を図ります。

### (具体的な計画)

- ・月1回の5職種ミーティングを継続実施。連携強化を図るとともに、ニーズ調査を基にした地域づくりの検討の場として活用していきます。
- ・法人系列4地域ケアプラザにおける各部署の合同連絡会を継続実施。区の枠を超えた情報共有と連携体制づくりに努めます。
- ・事業の共同開催や連合自治会、運営推進会議などへの持ち回り参加など、連携することで各部署の負担軽減を図ります。

## (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

### (目標)

適正な人員配置と法人全体の取り組みである「チョコット作戦」などを実行することで、それぞれのスキルに応じた職員育成を行い、働きやすい職場づくり、業務の効率化、公正・中立性の確保を図ります。

### (具体的な計画)

- ・主任制度発足により、所長不在時のスムーズな状況判断を可能とし、災害発生など緊急時の連絡体制強化を図ります。
- ・常勤職員を対象に目標管理シートの作成を義務付けることで、自身の目標設定を明らかにし、業務に対する意識向上へも繋げていきます。
- ・コミュニケーション研修の実施により、職員間や来館者に対するコミュニケーションスキルの向上を図ります。
- ・【チョコット作戦】
  - ① 接遇プロジェクト  
接遇マニュアル作成とトレーナー指導の実施
  - ② 労務管理プロジェクト  
労働法、就業規則、ハラスメント、メンタルヘルスなどの管理、徹底
  - ③ 人事制度プロジェクト
    - ・新給与体系への移行
    - ・課業一覧表・職能要件書の見直し
    - ・人事評価
    - ・目標管理と面接
  - ④ 教育プロジェクト
    - ・マネジメント（P-D-C-A）研修
    - ・研究発表
  - ⑤ キャリアパスプロジェクト  
人事異動、交換実習、転職希望
  - ⑥ 労働環境改善プロジェクト  
リフレッシュ休暇促進、残業ゼロ化

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

##### (目標)

- ・関係機関が実施する会議や行事へ積極的に出向き、情報共有を行うことで、地域福祉ネットワークの構築に取り組めます。
- ・地域住民と障がい児（者）との繋がりを強固に作り上げていきます。

##### (具体的な計画)

- ① 仏向地区連合町内会への定例参加を継続し、地域ケアプラザからの情報提供と地域からの情報収集を行います。
- ② 地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会への定例参加により地域ケアプラザからの情報提供と地域からの情報収集、相談対応などを行います。
- ③ 地域の障がい者施設との繋がりを深めることを目的として、部屋利用者事業実施日に合わせた3カ所の作業所のパン、お豆腐の販売を継続実施します。
- ④ 地域住民と障がい児（者）との繋がりを強固にする一環として、自主事業同士のコラボレーション企画や、サマーボランティアをきっかけとした担い手づくりなどにも取り組めます。
- ⑤ 地域の幼稚園や小中学校とのネットワーク形成として、学生の職業体験学習受け入れやサービス利用者との交流会を実施します。
- ⑥ 地域での SOS 見守りネットワークの構築に関して、地域住民や関連機関への周知を継続するほか、今年度は情報共有と顔の見える関係づくりを目的として、登録機関連絡会を開催する予定です。

#### (5) 区行政との協働

##### (目標)

昨年同様、ほっとなまちづくり（保土ヶ谷区地域福祉保健計画）の運営推進や、様々な取り組みにおいて区行政との連携・協働を図ります。

##### (具体的な計画)

- ・ほっとなまちづくりの支援チームメンバーとして、地域課題の抽出、整理を行い、区行政と協働することで、地域福祉保健計画の推進を図ります。  
6月11日：仏向地区懇談会開催予定
- ・介護予防事業や多職種連携体制の構築など、区行政と協働し業務推進にあたります。
- ・今年度は区制90周年にあたるため、関連事業の周知、協力を努めます。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

##### (目標)

- ① 仏向地域ケアプラザで地域の方と仏向周辺地域の方を対象にガイドボランティア講座を実施します。
- ② 交通の便が悪く、仏向地域ケアプラザに来館しにくい地域へ出向き、自主事業を行います。
- ③ 乳幼児を育てているお母さんのストレス解消や同じ子育て中のママ同士の交流の場や情報交換の場、先輩ママとの交流の場を意識して自主事業を行います。
- ④ 仏向地域ケアプラザの位置する環境を活かした事業、仏向農園を発展させ、収穫した野菜を障がい児（者）とその家族、地域の方々との交流の場を設けます。

(具体的な計画)

- ① 地域の民生委員・児童委員から障がい児通学時のガイドボランティア派遣相談があったことをきっかけに、区社会福祉協議会と共催でガイドボランティア講座を開催  
第1回：知的障がい児（者）のガイドボランティア講座（9月開催予定）  
第2回：精神障がい児（者）のガイドボランティア講座  
第3回：保土ヶ谷公園にて実際にガイドボランティア実技研修を行います。
- ② 仏向地域ケアプラザへのアクセスが不便な坂本町内会館において、自主事業「薬膳料理」を実施予定。仏向地域ケアプラザのケアマネジャーと協働で地域に伺い、薬膳料理教室を開催します。教室の中で最新の介護保険情報やケアプラザの役割周知、自主事業紹介を行います。
- ③ 仏向町に350世帯が入居する大型マンションができ、第一子の乳幼児とその親が多く入居している状況がわかってきました。  
育児に関する問合せがケアプラザやこども家庭支援課に多く、お互いに情報を共有しながら自主事業を見守りや、情報提供、情報収集の場として活用していきたい。  
ママたちのストレッチ&ダンスでは産後間もないママの参加者が増えたため骨盤引き締め体操を取り入れ、育児中のママのストレス解消や産後の体調回復を意識した内容で行っていきます。  
また経験不足のため育児に悩んでいるママのために、「わんあっぷ教室」で経験豊富な講師とケアプラザ職員2名が入り、自主事業を行います。  
また、行事がなくてもケアプラザに来られるように、「お部屋の開放」や「大きなお絵かきしよう!」、「本の貸し出し事業」を行い、身近にある安心な居場所にケアプラザがなれるよう心がけます。
- ④ 6月に収穫祭（じゃがいもフェスタ）を開催。仏向農園で収穫したじゃがいもを使用し、男の料理のメンバーが調理。障がい児（者）と家族、仏向農園メンバー、ふれあい音広場参加者、ボランティアなどがコラボレーションし、地域の特徴を活かしたフェスタで地域交流を行います。（6月開催予定）

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

(目標)

福祉保健活動団体を持つ特技や希望を的確に把握すると同時に、活動する場の情報を地域の方々より拾い上げることで、適材適所に活動の場をコーディネートしていきます。

(具体的な計画)

地域で行うお祭りや行事、地域の高齢者グループホームや障がい者施設、ケアプラザで行う自主事業やケアプラザ敷地内の樹木剪定のお手伝いなど各々の特技を活かして社会貢献できる活動の場をコーディネートします。今年度は福祉保健活動団体や個人ボランティアの一覧表に特技を書き出し、誰が見ても分かるような表を作成します。併せて、地域で求めているボランティア内容も分かりやすく表にまとめます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

(目標)

- ① 知的障がい児（者）、精神障がい児（者）のガイドボランティアとして活動していただける方を仏向地域で育成します。
- ② 若い世代を対象に地域の担い手を育成します。

(具体的な計画)

- ① 昨年度、障がい児（者）の自主事業を実施したところ、仏向地域や周辺地域に障がい児（者）の方が多くいることが分かりました。学校や作業所に通う付き添いのボランティアの要望があり、自主事業で区社協と共催し、ガイドボランティア養成講座を9月に実施します。

第1回：知的障がい児（者）のガイドボランティア講座（9月開催予定）  
第2回：精神障がい児（者）のガイドボランティア講座  
第3回：保土ヶ谷公園にて実際にガイドボランティア実技研修  
全3回の講座に参加した方で希望者は区社協に登録し、ガイドボランティアとして活動することを目標に実施します。

- ② 夏休み（7月～8月）に中学生から大学生を対象に、子育て支援事業、自主事業、仏向地区社会福祉協議会の子育て支援事業「おしゃべりサロン」、地域のグループホーム、地域ケアプラザ通所介護などを活動場所として、ボランティア活動の経験と学習を行います。

ボランティア活動をする前にボランティア活動の基礎知識やルールを学習し、問題意識を持ってボランティア活動ができるようにサポートします。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

##### (目標)

- ① コンフォール仏向で月1回行っている赤ちゃん教室に出向き、赤ちゃん教室に参加した第一子のお母さん方にケアプラザの事業の紹介をすることと、赤ちゃん教室の参加者やこども家庭支援課担当保健師と直接話をして情報収集に努めます。
- ② 毎月、ブログに広報紙を掲載し、スマートフォンで仏向地域ケアプラザの自主事業やお部屋の利用状況が分かるよう努めます。ケアプラザでどんな事をやっているかを若い子育て世代や仏向地域ケアプラザの広報紙が配布されていない地域の方々にも情報が伝わるように努めます。
- ③ 区地域子育て支援拠点こっころや、区社会福祉協議会に仏向地域ケアプラザの自主事業やサークル活動の情報掲載をお願いし、多くの方に情報が伝わるよう努めます。
- ④ 地域の老人クラブの行事に出向きケアプラザの自主事業紹介やケアプラザの役割について情報提供します。

##### (具体的な計画)

- ① コンフォール仏向で月1回行っている赤ちゃん教室（30～40組の親子が参加）への協力要請が民生委員・児童委員よりありました。保土ヶ谷区内で1番参加者が多い赤ちゃん教室となっています。今年度は地域のボランティア3名と共に活動支援を行います。赤ちゃん教室に参加したお母さん方にケアプラザの事業の紹介をし、仏向地域で安心して子育てが行えることを伝えます。赤ちゃん教室の参加者やこども家庭支援課担当保健師に直接、話を聞き情報収集に努めます。
- ② 子育て世代の若いママたちはスマートフォンから情報を入手する方が多く見られます。自治会がない地域や加入していないの方々には広報紙が届かないため、毎月広報紙掲載します。若い世代が見て楽しめるようカラーで広報紙を作成しています。
- ③ 区地域子育て支援拠点こっころの、ほどぴよメールには毎月、オススメ自主事業2件を掲載します。また区社協には仏向地域ケアプラザの広報紙の掲載を毎月依頼し地域全域に情報が伝わるよう努めます。
- ④ 星の丘ビューシティの集会所で行っているひまわりカフェや栗の沢自治会館で行っている敬老祭に出向きケアプラザの自主事業紹介やケアプラザの役割について情報提供をします。また同時に地域の情報収集を行います。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

##### (目標)

包括支援センター3職種および地域活動交流、生活支援コーディネーターが連携・補完し合い、適切に地域支援を行なっていけるよう、アセスメントに基づいた、地域支援方針を示していきます。

##### (具体的な計画)

圏域のアセスメントシートと地域支援計画書を作成し、5職種それぞれが地域支援における役割を把握できるよう5職種ミーティング内で継続的に共有・検討を進めていきます。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

##### (目標)

高齢者の生活課題が（個別ニーズ）継続的にケアプラザへ集まる仕組みを作り、情報分析・活用を進めていきます。

##### (具体的な計画)

- ①個別から適切に生活課題を洗い出す為、独自の生活実態チェックシートを作成し、包括支援センターは個別訪問時に、地域活動交流コーディネーターは自主事業・利用団体等へ実施します。
- ②連合町内会と連携し、各自治会で行われている敬老祝賀会時や敬老祝賀会の案内を届ける際に簡易版の生活実態チェックシートを実施します。
- ③上記①②の情報を分析し、結果を年度末までに地域ケアプラザ内はもちろん、連合町内会・地区社会福祉協議会・民生委員・児童委員協議会など地域ケアプラザの持っているネットワーク内で共有し、各々の団体が次年度の事業計画へ反映できるよう働きかけを行っていきます。

#### (3) 連携・協議の場

##### (目標)

連携・協議の場を活用し、生活支援・介護予防・社会参加にかかる活動やサービス創出に向けた働きかけを行っていきます。

##### (具体的な計画)

- ①「仏向地区移動手段を0から考える会」を定期的に開催します。
- ②既存の活動を発展させるのか、新しいものを生み出すのか連合町内会、地区社協役員会、地区民児協定例会での意見交換を元に地区にとって適切な方法をコーディネートします。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

##### (目標)

区役所・区社会福祉協議会・区内地域ケアプラザと情報共有を密にし、区域の課題解決に向けて積極的に関わっていきます。

(具体的な計画)

- ①区役所生活支援課や区社会福祉協議会ボランティアセンターなどとも連携し、介護保険申請前で課題のある方(精神・知的・認知症など)の受け入れ、見守り機関としても関わっていきます。
- ②区生活支援コーディネーター連絡会の持ち方について、区役所・区社協と協働で検討していきます。
- ③ほっとなまちづくり地区支援チームメンバー間で、地区情報の共有を積極的に行います。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

(目標)

『病気や障害を抱えていても誰もが安心して暮らしていけるまちづくり』を目指し、地域住民や福祉関連事業所・施設を初めとして、障がい等入居型の施設や一般営利企業等とも連携出来るよう取り組んでいきます。

(具体的な計画)

- ①昨年度に引き続き、徘徊 SOS ネットワークの構築・強化に向け、発見協力機関の新規登録に取り組みます。また、登録機関間の連携強化や実際に徘徊が発生した時に備え、連絡会の開催と FAX 送付訓練を行います。
- ②地区懇談会や地域ケア会議等の場に障がい児(者)等入居型施設や一般営利企業等の参加を促し、福祉関連事業所との関係性構築を進めていきます。
- ③現在は包括支援センターが主導となっていて行っている認知症サポーター養成講座や認知症予防カフェ(じゃがいもカフェ)を、キャラバンメイトとの共催で実施出来るよう、引き続きキャラバンメイトとの連絡会を開催していきます。
- ④町内会に属していない、圏域内の有料老人ホームとケアマネジャー間での業務内容の相互理解が不十分であることに起因する軋轢の緩和を目指し、出張個別相談会の開催や住民や職員向けの講座を行い、関係性の構築を継続して行っています。
- ⑤民生委員・児童委員とケアマネジャーの連絡会の場を活用し、年度末を目途に包括レベルの地域ケア会議を開催します。この場を利用し、地域の福祉活動に従事する方たちの連携強化に取り組みます。

#### ②実態把握

(目標)

包括3職種だけではなく、地域活動交流・生活支援コーディネーターとも連携し、昨年度以上に範囲を広げて地域の実態把握に努めます。

(具体的な計画)

- ①昨年度の地域情報誌「ぽてと」作成に続き、6/11 に地区懇談会の開催を予定しています。その中で、地域活動団体の活動内容や困りごと等の実情把握を行います。
- ②引き続き、所長、地域活動交流・生活支援コーディネーターを含め、毎月持ち回りで連合町内会に参加します。その場において、地域の方々との関係性作りやケアプラザの事業紹介、ほっとなまちづくりの進捗状況報告、地域の情報収集等、情報交換を進めていきます。
- ③毎月定例で5職種（包括支援センター、地域活動交流・生活支援コーディネーター）+ 所長で情報共有を目的とした合同ミーティングを行います。各職種が抱える課題に対して、複数の視点から解決策を考えられるよう取り組みます。
- ④地域ケアプラザが主体となって行う事業や、合同で行う事業において、昨年度に引き続きアンケート調査及び集計を行います。5職種分のアンケート収集で幅広い実態把握に努め、次回以降の事業実施に反映してまいります。

### ③総合相談支援

(目標)

地域ケアプラザ（地域包括支援センター）の機能・役割を、地域住民に広く知って頂くことに努めます。また、相談傾向の分析を行い、事前に各地域に適した情報を伝え、早期の相談に繋がれるよう取り組んでいきます。

(具体的な計画)

- ①保健師が中心となって定期的に訪問している各自治会・老人会にて介護保険や認知症サポーター養成に関する出張講座の開催や個別健康相談等を行い、必要に応じてケアプラザ協力医の医療相談を案内してまいります。併せて、昨年度末から開始した有料老人ホームでの個別出張相談会を引き続き開催します。
- ②包括が窓口となる個別相談ケースを生活支援コーディネーターと共有し、相談者や主訴、地域等のデータベース作成を行います。このデータベースを基にした統計や分析を進め、運営協議会等での発表を通し、各地域との共有を行います。

## (2) 権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

(目標)

引き続き成年後見制度や消費者被害対策等の地域への周知に努めます。

(具体的な計画)

#### 【消費者被害】

7/25 開催予定の民生委員・児童委員とケアマネジャーの連絡会のテーマに消費者被害を取り上げ、講師を消費生活相談センターに依頼します。また、地域住民向けにも同様の講座開催を予定しています。

また、ケアマネジャーからの利用者に関する相談については、同行訪問等積極的にサポートしてまいります。

#### 【成年後見制度】

ケアプラザが成年後見制度利用に関する相談先であることを周知していくことを目的として活動します。具体的な取組として、特に有料老人ホームでの個別相談会ではその点も相談内容の具体例として提示し、相談者への周知を進めます。



また、ケアマネジャーからの相談に対しての同行訪問や区との連携、地域ケア会議での検討等複数の階層でのアプローチを行います。

## ②高齢者虐待への対応

### （目標）

昨年度に引き続き、ケアマネジャーからの相談対応の個別ケースへの対応と、介護保険事業所を対象とした講座を区域で実施する、二本柱の活動を行い、より一層の早期発見、早期対応が出来る環境づくりを目指します。

### （具体的な計画）

①区内包括支援センター社会福祉士分科会の虐待担当班として、区高齢障害支援課の担当者 と連携し、訪問看護事業所やショートステイ事業を行う事業所に対しての「横浜市高齢者虐待防止事業指針」を中心とした講座を行います。

②ケアマネジャーからの個別ケース相談に対しては、区への報告やサービス事業所からの情報収集等の対応を行います。  
上記対応において、包括支援センターがケアマネジャーや事業所と、区とのパイプ役となり、スムーズに対応が進むよう努めます。

## ③認知症

### （目標）

みまもり SOS ネットワークの発見協力機関の拡充と連絡会の開催、認知症サポーター養成講座の開催等を通じ、地域全体の認知症への理解促進を図ります。

### （具体的な計画）

#### 【SOS ネットワーク】

①みまもり SOS ネットワーク発見協力機関の拡充を行います。昨年度までは施設系の事業所を中心に進めてきましたが、今年度は介護保険事業者を中心に進める予定です。

②発見協力機関の連携強化を目的とした連絡会を開催します。また、この連絡会に併せて徘徊者発生に備えた FAX 送付訓練を行います。

#### 【認知症】

①隔月（奇数月）で認知症キャラバンメイトとの連絡会を行います。主に認知症サポーター養成講座と認知症予防カフェの開催内容を中心に話し合いを行います。

②認知症予防カフェの隔月（偶数月）開催を継続して行います。開催内容については、①のキャラバンメイト連絡会での打ち合わせを元に決定し、キャラバンメイトの参加も進めていきます。

③グループホームや自治会等を対象に、認知症サポーター養成講座の開催を行います。その手段として、グループホームの運営推進会議への出席や民生委員・児童委員、地域住民へのアプローチを行っていきます。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

(目標)

昨年に引き続き、自治会長、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、ケアマネジャーとの懇談会を開催し、資源の情報共有を行う事で、顔の見える関係から協力し合える関係づくりを目的として、研修や懇談会を行います。

(具体的な計画)

年2回の懇談会開催

##### ①【消費者詐欺の対処法講座】

消費生活相談センターに講師を依頼し、支援者向けの内容で開催。その後、地域住民向け講座の開催へと繋げていきます。

##### ②【包括エリア地域ケア会議】個別地域ケア会議で抽出された課題を共通認識し、課題解決に向けての取り組みや成果があった事例を共有します。

#### ② 医療・介護の連携推進支援

(目標)

・区役所と包括支援センター職員合同で多職種連携会議を開催。今年度は事前打ち合わせメンバーに主認介護支援専門員以外の包括支援センター職員も参加。多職種で検討する必要がある内容で開催します。

・仏向エリア内在宅医療機関とケアマネジャーとの懇談会を引き続き開催して行きます。

(具体的な計画)

##### ①「多職種連携会議」を区内包括支援センター合同で開催認知症の方の自動運転、キーパーソン不在など、多職種で係わる必要がある内容で行います。

##### ②「エリア内多職種連携」開催。

認知症薬、降圧剤、睡眠薬の作用と注意点の研修、居宅管理指導について、医師、薬局、ケアマネ、訪問看護介護との連携について多職種で意見交換を行います。

#### ③ ケアマネジャー支援

(目標)

区内包括支援センター合同によるケアマネジャー連絡会と仏向エリアでの連絡会で、ケアマネジャー業務に必須な内容やスキルアップを目的とした講習の開催を行います。

(具体的な計画)

##### ① 包括支援センター合同で主任介護支援専門員更新研修受講資格に対応した研修を年8回開催する他、ファシリテーター研修を開催します。

##### ② 区内の新人、就労予定ケアマネジャーを対象とした研修として、行政サービス、介護予防プラン研修、区内福祉施設や福祉機器センターの見学および研修。その他個別実習を行います。

##### ③ 仏向エリアケアマネ連絡会では個別事例検討をスーパービジョンの手法で開催し、個別支援を継続的に行います。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

###### (目標)

介護保険サービス事業所だけでなく、地域の福祉保健活動団体や一般営利企業、障がい児(者)自立支援事業所など、地域で活動する様々な事業所や団体との連携体制の構築を目指します。

###### (具体的な計画)

①昨年度までと同様、連合町内会への参加や地域密着型事業所などが実施する運営推進会議への参加を継続し、包括支援センターの役割などを周知していきます。また、認知症サポーター養成講座の開催などを通して、お互いの役割の理解を進め、連携体制の構築発展に取り組みます。

②個別地域ケア会議の開催を進めていきます。この個別地域ケア会議の開催を重ねることで共通の地域課題の把握を行い、それをテーマとした包括レベルの地域ケア会議を開催します。また、この包括レベルの地域ケア会議において、介護保険事業者に加え、地域の福祉保健活動団体や一般営利企業の参加を促し、多職種・多階層にまたがる連携体制の構築を進めていきます。

③包括支援センターが受ける個別相談の相談票を包括支援センター3職種と生活支援コーディネーターとで共有し、相談内容や住所を初めとした種々のデータを統計化します。集まったデータは運営協議会で発表することで、地域との課題共有を進めます。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント (指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

##### 介護予防ケアマネジメント (指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

###### (目標)

①委託先のケアマネジャーが、ケアプラン作成等のケアマネジメント業務の中に地域資源を含んだ視点を持ってケアプランを作ることが出来るよう支援していきます。

②生活支援コーディネーターと連携し、介護保険サービスだけではカバーしきれない潜在的ニーズの発掘、集計等に努めます。

###### (具体的な計画)

①生活支援コーディネーターが中心となって作成した地域情報誌「ぼてと」を委託先のケアマネジャーに提供することで、ケアマネジャーが地域でのインフォーマルな活動を知ることが出来るよう取り組みます。

②現状生活支援コーディネーターが中心となってケアプラザが主催している協議体の場を利用し、フォーマル・インフォーマルに関わらず、地域で暮らす方たちへのボランティア等生活の支援に結びつく資源を発掘していきます。

③上記地域資源を活用したインフォーマルな支援と併せ、利用者本人の望む生活の方向性に合致したケアプランを立てられるよう、地域ケア会議の場に第三者参加を促し、客観的な視点を盛り込めるよう取り組みます。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

#### 〔介護予防普及強化業務〕

#### \* 各種介護予防講座を実施。

地域の中で『いつまでも、いきいきと健康に』過ごせるよう、健康寿命を延ばす事を目指します。同時に、事業参加者の中から人材発掘を行い、今後のプログラム運営や担い手の育成に繋がるよう支援していきます。

#### 【ダンベル体操】

筋力アップを図るため、4月より月1回、運動講師のもと実施。12月まで支援事業として行い、その後は可能であれば自主化へと繋げていきます。

#### 【ノルディックウォーキング】5月に保土ヶ谷公園にて実施

参加者 18名

#### 【栄養講座】

民間企業連携協定事業として、SOMPOネクストによる実施を9月に予定しています。

#### \* 地域活動グループへの支援

・昨年度、立ち上げた星ヶ丘自治会館と横浜星の丘ビューシティの介護予防体操の後方支援

・歯科衛生士による講座を星ヶ丘自治会館、仏向町内会館で実施予定。

・栄養講座を横浜星の丘ビューシティ、坂本町内会館にて実施予定。

・常盤台地域ケアプラザと連携し、和田町周辺にて新規介護予防教室の立ち上げに取り組んでいきます。

#### 【きらり★シニア塾】

地域の対象団体に対してのきっかけ作りと働きかけを継続的に行っていきます。

#### 【地域ケアプラザ協力医との連携】

協力医との連携を更に深めるため、広報紙へのミニ健康講座の掲載を定期的に依頼し、地域住民の健康意識を高めるきっかけづくりをすると同時に、医療相談事業の周知、活用へ働きかけを行います。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

公共の施設である為、専門の業者に施設全体の維持管理を依頼することで、質の高い施設管理を行っています。空調、消防設備はもちろんのこと、使用頻度の高い自動ドアやエレベーターの安全管理には特に注意し、常に快適に利用出来るよう配慮しています。

開設から10年が経過し、ボイラーの故障や雨漏りなど、不具合が多くなっていますが、来館者にご迷惑がかからないよう、不具合が発見された場合には、速やかに報告し、法人や行政との連携により、早急に修繕するよう心がけています。

### イ 効率的な運営への取組について

消耗品等については無駄が生じないように日々徹底し、取り扱いに注意を払うよう指導を行い、職員への意識付けを行っています。また、資源に関する節約の意識をもつよう、職員に対しミーティングなどの場において啓発を行っています。来館者へも掲示や口頭、活動団体説明会などで、節電・節水の呼びかけを行っています。

### ウ 苦情受付体制について

館内に「理事長への手紙」を設置し、要望や苦情が匿名でも受けられるような体制を整えています。また、当法人の苦情相談窓口の案内等もを行っています。

昨年同様、自主事業を実施した後に、その事業へ参加した皆様へ感想や要望をアンケート調査し、次の事業に反映できるよう取組みます。

年一回の施設利用者アンケートを実施し、問題点やその対応策について検討、改善し、区役所との情報共有を行います。

### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

施設の火災等発生時と地域での大規模災害発生時に分け、職員の役割分担を決めており、施設利用者の身の安全を確保していきます。

また、地域ケアプラザは大規模災害時の特定避難場所となっており、広域避難場所連絡会や地域の避難訓練等にも積極的に参加、今年度は橘中学校防災避難訓練と共催で特定避難場所避難訓練を実施する予定です。

### オ 事故防止への取組について

ヒヤリハットや事故発生の際には、必ず報告書を作成し、部門ミーティング等において、事故原因の追究とその防止策を検討してまいりました。ヒヤリハット報告は今後も業務改善のツールとして活用し、職員間での情報共有を徹底していきます。

昨年度よりドライブレコーダーを導入したことで、職員一人一人の安全運転への意識を高め、同時に事故発生時の状況把握にも役立てています。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人としての個人情報保護方針を定めており、これをホームページへ掲載すると同時に館内にも掲示しています。また、指定管理業務で個人情報の漏えいがあった場合には、速やかに行政への報告を行います。

年1回、全職員に対して個人情報保護に関する研修を実施します。

居宅介護支援事業や介護予防支援事業に関しては、契約書の中にも謳われており、その厳守に努めます。

#### キ 情報公開への取組について

情報公開については、当法人のホームページにて運営規定や財務状況を公開しています。実施事業ごとに館内に運営規程の掲示も行っています。

また月1回、地域の情報や自主事業の情報、健康情報などを掲載した広報紙を発行し、各自治会や学校、施設、関係機関等へ配布します。

介護保険事業に関しては、ケアマネジャーの空き情報の公開や神奈川県指定情報公表センターのホームページにて介護サービス情報の公表を行っています。

#### ク 人権啓発への取組について

年1回、全職員に対して権利擁護や身体拘束に関する研修を実施します。

地域住民に対しては、消費者被害や成年後見制度に関する講座を開催し、権利擁護の啓発に努めます。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市資源循環局のルート改修（ヨコハマ3R夢プラン）に対応するよう、ゴミの分別を徹底しています。「資源としてリサイクルできる物と、ゴミとして排出する物と区別をする」、「ゴミを持ち込まない」、「ゴミを増やさない」、これらのことへの意識を高め、ゴミの減量化に取り組めます。

また、館内の温度管理等を適切に保ち、使用しない部屋の電気や空調の電源をこまめに切る等の節電により、環境への配慮に努めます。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

地域包括支援センター4名（保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、生活支援コーディネーター）体制。

#### 《目標》

- ・介護予防従事者研修など必要な研修へ積極的に参加することで、職員の資質向上に努めます。
- ・ケアマネジャーからの相談にはいつでも応じ、ケアマネジャーが一人で問題を抱え込まないよう、必要に応じてケアカンファレンスや地域ケア会議を開催するなど、支援体制を整えられるよう取組みます。

#### 【困難事例について】

- ・ケアマネジャーや介護保険サービス事業所に加え、区役所や区・地区社会福祉協議会、民生委員、一般事業所等と連携を図り、解決に向けて取組みます。
- ・上記の連携円滑化のため、地域ケア会議やケースカンファレンス等を必要に応じて開催し、地域包括ケアシステムの基盤構築に向けた支援体制の構築に取組みます。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特にありません

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域住民との関わりを深める目的で、自治会等への積極的な働きかけを行います。

「認知症サポーター養成講座」を中心に地域住民向けの認知症に関する勉強会の開催を実施します。

- ・介護保険制度を知らない人や実際には必要なものの制度に繋がっていない人を一人でも多くひろい上げるため、各自治会や民生委員・児童委員への講座案内など積極的な働きかけを行っていきます。
- ・保土ヶ谷みまもりSOSネットワークシステムの説明を通して、地域の施設等との繋がりを強化すると共に、認知症サポーター養成講座年一回の開催を目標とし、地域全体の福祉力・支援力の向上に取組みます。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
160	160	160	160	160	160
10月	11月	12月	1月	2月	3月
160	160	160	160	160	160

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1 名と常勤 3 名の 4 名体制。

《目標》

引き続き、ケアマネ連絡会を中心とした研修会参加や、同法人内での定期ミーティングを開催、更に今年度は特定事業所加算の取得を目指し、質の高いケアマネジメントを提供していけるよう取組みます。また、昨年度同様、包括支援センターや地域活動・交流との共催により、地域住民向けの料理教室の場を活用した介護保険制度説明など、地域貢献活動も実施します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● 特にありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

社会福祉法人清光会の 6 つの施設（4 地域ケアプラザと 2 特別養護老人ホーム）と医療法人恵生会との連携により、福祉医療に充実した体制を整え、精度の高い情報提供とケアマネジメントが行えるよう努めます。また、土日の相談にも対応することができるよう、ケアマネジャーだけでなく、所内包括支援センターとの連携にも努めます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
8 0	8 2	8 4	8 6	8 8	9 0
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
9 2	9 4	9 6	9 8	9 6	9 4



● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 健康チェック
- 入浴
- 食事
- レクリエーション
- 口腔機能向上
- 個別機能訓練
- 運動器機能向上訓練
- 生活機能向上グループ活動
- 相談業務

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| ● 1割負担分（通所介護）         | ● 1割負担分（認知症通所介護） |
| （要介護1） 704円/回         | （要介護1） 1,072円/回  |
| （要介護2） 831円/回         | （要介護2） 1,188円/回  |
| （要介護3） 963円/回         | （要介護3） 1,305円/回  |
| （要介護4） 1,095円/回       | （要介護4） 1,422円/回  |
| （要介護5） 1,227円/回       | （要介護5） 1,539円/回  |
| ● 食費負担（サービス共通） 750円/回 |                  |

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 生活相談員 5名（常勤兼務）
- ・ 看護師 5名（非常勤兼務）
- ・ 介護員 18名（常勤兼務5名、非常勤兼務13名）

《目標》

居宅介護支援事業所からの介護計画書に基づき、個別の（認知症対応型）通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施します。利用者様一人一人に合わせた自立支援に努め、昼食メニューの充実やレクリエーションプログラムの見直しを行うことで、月間稼働率の向上を目指します。（年間稼働率78%）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

通常規模の通所介護/介護予防通所介護/第一号通所事業に加え、認知症対応型通所介護を併設しています。

園芸や手芸等のクラブ活動をはじめ、レクリエーションの充実に努めています。

明るく開放的なデイルームで、利用者様一人一人の希望やニーズに合わせたサービス提供を心掛けています。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
831	861	846	877	888	872
10月	11月	12月	1月	2月	3月
910	869	828	789	787	858

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 健康チェック
- 入浴
- 食事
- レクリエーション
- 口腔機能向上
- 個別機能訓練
- 運動器機能向上訓練
- 生活機能向上グループ活動
- 相談業務

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分  
（事業対象者）  
通所型独自1／22      1,766円／月  
通所型独自2            3,621円／月  
（介護予防通所介護）  
要支援1                1,766円／月  
要支援2                3,621円／月  
（認知症対応型通所介護）  
要支援1                927円／回  
要支援2                1,036円／回
  
- 食費負担                    750円／回

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9：30～16：35

《職員体制》

- ・ 管理者                    1名（常勤兼務）
- ・ 生活相談員            5名（常勤兼務）
- ・ 看護師                    5名（非常勤兼務）
- ・ 介護員                    18名（常勤兼務5名、非常勤兼務13名）

《目標》

居宅介護支援事業所からの介護計画書に基づき、個別の（認知症対応型）通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施します。利用者様一人一人に合わせた自立支援に努め、昼食メニューの充実やレクリエーションプログラムの見直しを行うことで、月間稼働率の向上を目指します。（年間稼働率78%）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

通常規模の通所介護/介護予防通所介護/第一号通所事業に加え、認知症対応型通所介護を併設しています。

園芸や手芸等のクラブ活動をはじめ、レクリエーションの充実に努めています。明るく開放的なデイルームで、利用者様一人一人の希望やニーズに合わせたサービス提供を心掛けています。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	20	20	20	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	20	20	20	20	20

平成29年度 「仏向地域ケアプラザ（施設名）」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,034,000	0	19,034,000		19,034,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	0		0		0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	0		0		0	第3期の指定管理施設のみ
<b>収入合計</b>	<b>19,034,000</b>	<b>0</b>	<b>19,034,000</b>	<b>0</b>	<b>19,034,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>11,550,000</b>	<b>0</b>	<b>11,550,000</b>	<b>0</b>	<b>11,550,000</b>	
本俸	3,660,773		3,660,773	0	3,660,773	
社会保険料	797,412		797,412	0	797,412	
手当計	6,931,502		6,931,502	0	6,931,502	
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	113,768		113,768	0	113,768	
その他	46,545		46,545	0	46,545	
<b>事務費</b>	<b>1,344,000</b>	<b>0</b>	<b>1,344,000</b>	<b>0</b>	<b>1,344,000</b>	
旅費	11,000		11,000	0	11,000	
消耗品費	183,500		183,500	0	183,500	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	140,000		140,000	0	140,000	
通信費	122,000		122,000	0	122,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	22,000		22,000	0	22,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	3,000		3,000	0	3,000	
振込手数料	500		500	0	500	
リース料	530,000		530,000	0	530,000	
手数料	128,000		128,000	0	128,000	
地域協力費	27,000		27,000	0	27,000	
その他	177,000		177,000	0	177,000	
<b>事業費</b>	<b>942,000</b>	<b>0</b>	<b>942,000</b>	<b>0</b>	<b>942,000</b>	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	900,000		900,000	0	900,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>4,274,000</b>	<b>0</b>	<b>4,274,000</b>	<b>0</b>	<b>4,274,000</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000	
電気料金	2,843,580		2,843,580		2,843,580	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	156,420		156,420		156,420	
清掃費	266,000		266,000	0	266,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	99,000		99,000	0	99,000	
設備保全費	435,000	0	435,000	0	435,000	
空調衛生設備保守	21,000		21,000	0	21,000	
消防設備保守	43,000		43,000	0	43,000	
電気設備保守	348,000		348,000	0	348,000	
害虫駆除清掃保守	23,000		23,000	0	23,000	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>924,000</b>	<b>0</b>	<b>924,000</b>	<b>0</b>	<b>924,000</b>	
事業所税			0		0	
消費税	924,000		924,000	0	924,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>19,034,000</b>	<b>0</b>	<b>19,034,000</b>	<b>0</b>	<b>19,034,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「仏向地域ケアプラザ（施設名）」 収支予算書及び報告書（特別会計）

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,626,000		23,626,000		23,626,000	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	介護保険収入等充当分
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（ ）			0		0	
その他（ ）			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>29,566,000</b>	<b>0</b>	<b>29,566,000</b>	<b>0</b>	<b>29,566,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>26,030,000</b>	<b>0</b>	<b>26,030,000</b>	<b>0</b>	<b>26,030,000</b>	
本俸	13,887,526		13,887,526		13,887,526	
	3,237,091		3,237,091		3,237,091	
手当計	8,269,991		8,269,991		8,269,991	
健康診断費	0		0		0	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	443,031		443,031		443,031	
その他	192,361		192,361		192,361	
<b>事務費</b>	<b>694,000</b>	<b>0</b>	<b>694,000</b>	<b>0</b>	<b>694,000</b>	
旅費	25,000		25,000		25,000	
消耗品費	27,000		27,000		27,000	
会議ठीい費	5,000		5,000		5,000	
印刷製本費	91,000		91,000		91,000	
通信費	85,000		85,000		85,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	12,000		12,000		12,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	3,000		3,000		3,000	
振込手数料			0		0	
リース料	444,000		444,000		444,000	
手数料			0		0	
地域協力費	2,000		2,000		2,000	
その他	0		0		0	
<b>事業費</b>	<b>1,716,000</b>	<b>0</b>	<b>1,716,000</b>	<b>0</b>	<b>1,716,000</b>	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	
介護予防事業	151,000		151,000	0	151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	626,000		626,000	0	626,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>1,126,000</b>	<b>0</b>	<b>1,126,000</b>	<b>0</b>	<b>1,126,000</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	800,000	0	800,000	0	800,000	
電気料金	746,936		746,936		746,936	
ガス料金			0		0	
水道料金	53,064		53,064		53,064	
清掃費	70,000		70,000	0	70,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械警備費	26,000		26,000	0	26,000	
設備保全費	104,000	0	104,000	0	104,000	
空調衛生設備保守	10,000		10,000	0	10,000	
消防設備保守	11,000		11,000	0	11,000	
電気設備保守	77,000		77,000	0	77,000	
害虫駆除清掃保守	6,000		6,000	0	6,000	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ス対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>29,566,000</b>	<b>0</b>	<b>29,566,000</b>	<b>0</b>	<b>29,566,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	

## 平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
お部屋の開放	未就園児とその親	0		0	0	0	0
	10組×60回予定						
	0						
どんぐリング	未就園児とその親	50,000		0	0	36,000	14,000
	20組×11回						
	0						
大きなお絵かき しよう	小学生以下	2,000		0	0	0	2,000
	347回						
	0						
みんなで人形劇 をみよう	未就園児とその親	10,000		0	0	10,000	0
	25組×1回						
	0						
親子でリズム遊び	①1歳半～未就園児の親子 ②0歳～1歳半の親子	11,500		0	0	10,000	0
	①20組×2回予定 ②20組×2回予定						
	0						
自主製品販売場所の提供・ 調整	地域の方	0		0	0	0	0
	65回						
	0						
ガイドボランティア講座	地域の方	10,000		0	0	0	10,000
	15名×3回						
	0						
囲碁・将棋クラブ	地域の方	0		0	0	0	0
	20人×48回						
	0						
男の料理倶楽部とBホップダ ンスの食事会	障がい児・者とそのご家族と地域の方	21,000		0	10,000	6,000	15,000
	20人×2回						
	500						
仏向ミュージックカフェ	地域の方	45,000		0	0	33,000	12,000
	30人×11回						
	0						
ビニールプールで 水遊び	未就園児とその親	5,000		0	0	0	5,000
	25組×3回						
	0						
サマーボランティア	中・高学生	5,000		0	0	0	5,000
	20名						
	0						

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
館内利用団体交流会	貸室団体	3,000	0	0	0	3,000	0
	30人×1回						
	0						
ボランティア交流会	ボランティア	22,000	0	0	0	22,000	0
	20人×1回						
	0						
ふれあい「音」 広場	地域の方	20,000	0	12,000	0	20,000	0
	10人×12回						
	100						
薬膳料理	高齢者	8,000	0	5,000	0	8,000	0
	10人×1回						
	500						
本の貸し出し事業	地域の方	0	0	0	0	0	0
	347回						
	0						
わんあっぷ教室	<small>子育てが大変と感じている親と未就園児</small>	123,750	0	0	110,000	0	13,750
	12組×11回						
	0						
語りべと歩くまち	地域の方	3,000	0	0	0	0	3,000
	15人×2回						
	0						
ママたちのストレッチ&ダンス	地域の方	55,000	0	22,000	55,000	0	0
	20人×11回						
	200						
Bホップダンス	障がい児・者	60,000	0	24,000	60,000	0	0
	15組×12回						
	200						
パパデー	未就園児と父親	3,000	0	0	3,000	0	0
	20組×1回						
	0						
仏向地域ケアプラザ祭	地域の方	65,000	0	0	5,000	55,000	5,000
	1回						
	0						
クリスマスコンサート	地域の方	40,000	0	5,000	25,000	15,000	0
	1回						
	100						

事業ごとに別紙に記載してください。



## 平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
公園であそぼう！	未就園児と親	0	0	0	0	0	0
	20組×4回						
	0						
じゃがいもカフェ	地域の方	30,000	0	0	20,000	10,000	0
	20人×6回						
	0						
ボールペン字講座	高齢者	36,000	0	0	36,000	0	0
	12人×12回						
	0						
仏向フェスタ	地域	20,000	0	0	0	20,000	0
	200						
	模擬店購入料金実費						
仏向農園	地域の方	40,000	0	0	0	30,000	10,000
	不定期						
	0						
寄せ植え講習会	地域の方	30,000	0	24,000	0	30,000	0
	12人×2回						
	1,000						
ノルディックウォーキング講座	高齢者	17,000	0	0	17,000	0	0
	20人×1回						
	0						
ダンベル体操	高齢者	45,000	0	0	45,000	0	0
	20人×9回						
	0						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業計画書

## 横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お部屋の開放	<p>●【目的】子育て中の親子の交流の場をつくることで、子ども同士、親同士の交流を図ることを目的に開催する。</p> <p>【内容】出入り自由、プログラム無しの気軽に立ち寄れる親子の居場所として部屋を開放。</p>	<p>●第3火曜日、毎週木曜日を主に、単発での子育て事業終了後計60回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どんぐりリング	<p>●【目的】子育て中の親子を対象に、親子ふれあいの楽しい時間と、家庭でも楽しめる遊びを提案する。また子供同士、親同士の交流を図ることを目的に開催する。</p> <p>【内容】保土ヶ谷区で活躍している保育ボランティア「かるがもキッズ」のスタッフを講師に手遊びや体操など親子遊びを中心に毎月季節の行事や工作など取り入れたプログラムを実施。</p>	<p>●毎月第3火曜日計12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大きなお絵かきしよう!	<p>●【目的】地域の子供達を対象に、普段できない大きな窓ガラスに自由な発想で「お絵かき」を楽しむと共に、室内で遊ぶ場の少ない地域で子供達と未就園児の親子の居場所として実施。</p> <p>【内容】エントランスにあるガラス窓を利用して、水性マジックを貸し出し、お絵かきを楽しむ。</p>	<p>●開館日10時～17時の間いつでも</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで人形劇をみよう	<p>●【目的】地域にお住まいの乳幼児とその親を対象に地域での子育て世代の居場所づくりと親同士、子供同士の交流を目的に実施。</p> <p>【内容】人形劇ボランティア「はまなす」、「たんぼぼわらべ」さんによる、人形劇、エプロンシアターの観劇会。人形劇団のメンバーと観客である子供達との交流の時間も設け、鑑賞会だけにとどまらず、積極的に交流を深めるようにしている。</p>	<p>●3月計1回</p>

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でリズム遊び	<p>●【目的】未就園児とその親を対象に、リズム遊びをとおして、親子のスキンシップを図ると共に参加者同士の交流を促します。また、子供中心の生活になっている親のリフレッシュの場として実施。</p> <p>【内容】①1歳半～未就園児の親子対象②0歳～1歳半の親子対象と年齢別に時間をわけ、それぞれ、音楽に合わせて体を動かしたり、手作りの楽器でリズムをとったりスキンシップを図る。</p>	●年2回実施
自主製品販売場所の提供・調整	<p>●【目的】区内にある障がい者施設の自主製品販売の支援と共に、商業施設の少ない当ケアプラザエリアで、子育て事業に参加した親子や部屋利用団体の方々にパンなどを購入できる場所を提供することを目的に実施。</p> <p>【内容】いわまワークス、ダンボの会、とうふ工房夢21の製品販売</p>	●毎週木曜日の育児相談終了後 月2回の子育て支援事業終了後に実施 計65回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガイドボランティア講座	<p>●【目的】地域の障がい児・者の通学、通所のガイドボランティアをしてくださる方が不足している。仏向地域ケアプラザで講習会を開催することで障がい児・者の理解とガイドボランティアの登録までを目標に行う。</p> <p>【内容】1、知的障がい者のガイドボランティア講座 2、精神障がい者のガイドボランティア講座 3、保土ヶ谷公園でガイドボランティア実技講習</p>	●9月（3回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁・将棋クラブ	<p>●【目的】地域の方を対象に、囲碁・将棋を通して、仲間づくりや交流を図る。高齢男性の引きこもり予防、外出のきっかけ作りを目的に実施。</p> <p>【内容】囲碁または将棋の手合わせを通して、多くの方々と親睦を深める。</p>	●毎週火曜日 第4のみ月曜日 計48回

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理倶楽部とBホップダンス食事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【目的】地域の方々と障がい児・者とご家族の交流を図る。また、障がい児・者の担い手につなげていく。</li> <li>【内容】男の料理倶楽部の方々が仏向農園で収穫したじゃがいもや大根を調理し、障がい児・者とご家族の交流を行う。今年度からケアプラザで活躍しているボランティアさんや仏向農園で活躍しているメンバーも参加し、担い手の発掘につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●9月、2月（年2回）</li> </ul>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向ミュージックカフェ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【目的】地域住民へ多人数で歌を歌う機会の提供と交流の場として定期的な開催をする。</li> <li>【内容】地域にお住まいのピアノの先生の生伴奏で、歌謡曲、童謡、唱歌など様々なジャンルの歌を歌います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月第3土曜日（8月は除く）11回</li> </ul>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビニールプールで水遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【目的】未就園児の親子を対象に、水遊びをとおして親子のふれあいを深めると共に、参加者同士のコミュニケーションを図ります。また、サマーボランティアの活動プログラムをとり入れることで、普段関わることのない中学生～大学生と子育て中の親子の交流を図る。</li> <li>【内容】2階のテラスにビニールプールを用意し水遊び。</li> <li>●仏向地域ケアプラザの自主事業として1回実施。</li> <li>●仏向地区社会福祉協議会と共催で2回実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●7月～8月計3回</li> </ul>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【目的】中学生と高校生、専門学校、大学生を対象に、福祉保健施設を利用している、子育て中の親子や高齢者、地域で活躍しているボランティア活動の先輩達との世代間交流をとおして、地域や福祉について学ぶことを目的とする。</li> <li>【内容】活動前に説明会を実施。「ボランティアとは」「活動の説明」、デイサービスでボランティアをする方には、キャラバンメイトによる認知症についての話。「日程調整」などをおこない7～8月に活動にはいります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●7月～8月個人の希望する日程・時間で活動する</li> </ul>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
館内利用団体交流会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【目的】仏向地域ケアプラザの館内利用団体を対象に今年度より施設利用方法が新しくなったため、変更点の確認と館内避難経路の確認。仲間作りを目的とした災害時に役立つ家庭における食材備蓄の講座を行う。</li> <li>【内容】1、館内利用についての確認と説明 2、講師をお呼びして、災害時に役立つ家庭における缶詰めなどの食材備蓄講座。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●9月計1回</li> </ul>

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>【目的】 仏向地域ケアプラザにボランティア登録し活動している方を対象に交流を図る。</p> <p>【内容】 館内利用団体の「仏向男の料理倶楽部」のメンバーにお願いし、汁物とゼリーを調理していただき食事会を楽しむ。音楽ボランティアさんと参加者の合唱などのリクリエーションをし親睦を深める。</p>	●5月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい「音」広場	<p>●【目的】 子供から高齢者まで、多世代交流の場所として、また大人のための居場所づくりを目的とする。</p> <p>【内容】 お茶を飲みながら自由に集える場として開催。レコードを持ち寄り、集まった方々で聴いて楽しむ。子供から大人まで一緒に鉄道模型を走らせ楽しむ。保土ヶ谷の民話を紙芝居で紹介しているボランティアさん、レコードボランティアさんと交流をしてマンネリ化しないよう企画する。</p> <p>●地域包括支援センターと地域活動交流共催</p>	●毎月第4土曜日 午後実施 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
薬膳料理	<p>●【目的】 薬膳料理調理実習を通して、地域の方々の親睦を図る。講師がケアマネジャーであるため、介護保険の最新情報や介護保険についての質問にお答えすることができる。交通の便が悪く来館が難しい地域に出向き仏向ケアプラザの事業紹介や役割についての広報活動を目的に実施。</p> <p>【内容】 交通の便が悪く仏向ケアプラザに来館しにくい坂本町において坂本町内会館を利用して薬膳料理調理実習を実施する。同時に広報活動を行う。</p>	●11月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
本の貸し出し事業	<p>●【目的】 地域の方々から身近なケアプラザで本の貸し出しをしてほしいとの要望があった。その意見を受け、地域交流のきっかけ作りを目的に実施。</p> <p>【内容】 保土ヶ谷図書館団体貸し出しより年4回幼児から大人までを対象に約300冊の本を借り、仏向地域ケアプラザエントランスに本の貸し出しコーナーを設ける。受付で希望者に本の貸し出しを行う。本の貸し出しコーナーの周りにケアプラザの事業紹介コーナーを設け自然にケアプラザからの情報が伝わるよう配置している。また椅子やテーブルを配置し、地域の方々がゆっくりと自由に本を手にとって見る場所も配置している。</p>	開館日 9時から21時の間いつでも

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんあつ ぶ教室	<p>●【目的】近隣の子育て中の親子、特に子育てが大変と感じている親子を対象にミュージックケアを行い、五感を刺激する事で子供の発達を促す。また、子供への正しい関わり方を親に理解してもらう事で、その後の生活においても子育てに対する悩みを少しでも軽減する事を目的とする。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自由時間</li> <li>2. ミュージック・ケア</li> <li>3. 育児相談</li> </ol>	<p>●毎月1回 (6月お休み) 計11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
語りべと 歩くまち	<p>●【目的】「ほどがや語りべ集」の編集に関わった方々と一緒に、企画から運営をおこないます。語りべ集に載っているポイントを中心に、ウォーキングをしながらまちの魅力を再発見することができる。また自分達のまちづくりに興味を持つことを目的に実施する。1万歩前後を歩くため生活習慣病の予防にも有効である。</p> <p>【内容】</p> <p>6月2日「保土ヶ谷公園スポーツ施設巡り」 12月初旬「畑巡りとみかん狩り」</p>	<p>●年2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママたち のスト レッチ& ダンス	<p>●【目的】子育て中のお母さんのストレス解消、産後ママの骨盤しめ体操先輩ママとのコミュニケーションの中から子育てのヒントが見つければとの思いから、様々なお母さんを対象に実施。</p> <p>【内容】</p> <p>ストレッチ体操、骨盤しめ体操、ヒップホップダンスを地域のお母さんたちと楽しむ。1回ごとに参加者同士協力して一つのダンス曲を踊り、完成させる。 職員による乳幼児の見守りをしている。</p>	<p>●毎月第1火曜日 1月休み 計11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Bホップ ダンス	<p>●【目的】障がい児・障がい者の余暇活動を支援する。障がい児・者の自主事業を通して地域のニーズを探り、協力者を見つけ出す。</p> <p>【内容】地域にお住まいの障がいのある小学生から学校を卒業して作業所に通われている18歳以上の方を対象にヒップホップダンスを楽しむ。余暇を身近にある地域ケアプラザで地域の仲間と共に過ごす。子供と一緒にご家族も参加して楽しむことができる。</p>	<p>●4月より毎月 第4土曜日 計12回</p>

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパデー	<p>●【目的】 パパが子育てを純粋に楽しむイベント。パパ同士の絆を深める。</p> <p>【内容】 大きなバランスボールを使ってパパと子供がふれあいながら楽しむ。 パパだけでなく家族参加、ママと子供での参加も良い。 参加者同士の話し合いの時間を設け、親睦を図る。 こっころとの共催事業。</p>	●1月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向地域 ケアプラ ザ祭	<p>●【目的】 利用団体の発表の場として。団体同士の横のつながりを深める。ケアプラザがどんな内容の仕事をしているか多くの地域の方々が集まる祭りで分かりやすく伝える。</p> <p>【内容】利用団体の方々が協力して料理や菓子を作ってください参加者と共に楽しむとともに災害時の炊き出しの練習にもなる。ダンスや音楽の利用団体の発表。包括支援の看護師による体組成計、社会福祉士による総合相談。生活支援コーディネーター他どんな仕事をしているのか、ケアプラザの役割を普段ケアプラザに来館されない方々に伝える。</p>	●10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマ スコン サート	<p>●【目的】 世代を超えた地域住民同士の交流を図る。いつも来館されない方も来館されるので、地域ケアプラザの周知をおこなうことを目的として開催する。</p> <p>【内容】 地域で活動している音楽家やダンスの先生に出演を依頼して、出演者とミーティングを重ね、コンサートを創り上げていく過程を大切にしている。当日は地域の方々と共に声楽や様々なダンスと音楽の総合芸術を楽しむ。</p>	●12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
公園で遊 ぼう！	<p>●【目的】 地域の子育て支援者さんと協力して、乳幼児とその親のサポートをする。外遊びの大切さ、楽しさを地域の公園5か所に出向き、一緒に遊び、伝える。</p> <p>【内容】 仏向町、仏向西、坂本町の公園、5か所に出向き子育て中の親子と一緒に遊び地域の子育て支援者さんと共に公園遊びの楽しさ大切さを地域の乳幼児の親たちに伝える。また地域全体で子育て支援していることを伝える。仏向町の子育て支援事業についてもお知らせする。</p>	●年5回

# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
じゃがいもカフェ	<p>【目的】 認知症の予防について学んだり、カフェのような雰囲気に参加者同士が交流する場を設定。認知症の人も、そうでない人も気軽に参加できる居場所作りを行う。</p> <p>【内容】 毎回テーマを設け、幅広く参加者を募集する仕掛けを行っており、テーマに沿った活動を行う。この募集を通して、閉じこもりからくる認知症の発症を予防できるきっかけとなることを話すなど、大元に認知症とその予防がテーマとしてあることを意識して頂ける構成としています。キャラバンメイトの協力も得ながら行う。</p>	●偶数月第1土曜日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボールペン字講座	<p>【目的】「生涯学習」と銘打ち、継続的に講座を開くことで、現時点では介護サービスを必要としていない地域の高齢者の参加を促します。 この講座は、「ボールペン字」という日常生活に密接に結び付く部分をテーマとして扱い、「介護」色を薄めることでこれまでケアプラザの事業に参加してこなかった方の参加を狙います。 これによって、引きこもりを予防し、認知症等の介護が必要になる状態への進行の予防を目指します。</p> <p>【内容】3/3に第一回を開催し、告知期間が短かったにも関わらず6名の参加を頂きました。その後、ケアプラザの広報紙等での周知を行った結果、4/10時点で13名の登録と6名のキャンセル待ちがいる状況となっています。 今後は、連絡なしの欠席が続いた方をキャンセル扱いとし、キャンセル待ちの方を随時組み込んでいく予定となっております。</p>	●毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向フェスタ	<p>【目的】 仏向地域福祉保健計画にのっとり、「子どもから高齢者まで自然にあいさつができる町」を目指し、地域住民同士の交流の機会を増やすと共に、地域で活動する団体同士のつながり、また団体と住民のつながりも構築していく事を目的として開催する。また、第二期計画であがっていた、認知症についての理解普及も合わせて行っていく。</p> <p>【内容】 連合町内会による「やきそば」、スポーツ推進員による「射的・昔遊び」、地区社協による「おしるこ」、障がい者施設による「物品販売」、更生保護女性会による「ビスケット・あられ」、ケアプラザ利用団体男の料理による「豚汁」、青少年指導員による「カレー」などの模擬店。 区社協と地区社協による「フードドライブ」など実施予定。 館内利用団体や地域団体の発表。また、認知症についてのクイズ（アンケート）も実施し、出店団体は胸に花をつけ話しかけないとクイズが回答できないという仕掛けを作り、団体と地域住民との繋がりを意識した取り組みを行っていく。</p>	●3月（1回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向農園	<p>【目的】野菜づくりには季節性があり、自然への働きかけを行い身体を動かすことで、緊張緩和、癒し効果、ADL低下や認知症予防などが期待でき、心身両面における健康増進を図ります。また、野菜づくりという一つの目的を通じて、生活の質の向上（生きがいづくり）や、定年後の男性の社会参加、多くの世代が集まる世代間交流の場を提供します。 他の自主事業（じゃがいもカフェ）やボランティア活動の場としても活用していきます。</p> <p>【内容】集まった皆さんと一緒に何を植えるか検討し、季節の野菜を植え、経過を見守りながら収穫を行う。収穫した野菜を使って料理をしたり、収穫後の野菜の活用方法も検討し、地域へ還元できるようにしていきます。</p>	不定期



# 平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
寄せ植え講習会	<p>●【目的】 仏向町に大型マンションができ、他の地域から引っ越して来た方が見られる。また、定年退職して地域参加されたい方も多く見られる。新たな自主事業に参加していただきケアプラザの目的や内容を周知する。お手伝いをしてくださるボランティアを募集し、ボランティア促進にも役立てる。</p> <p>【内容】 多目的ホール、ウッドデッキを利用して地域の方々と共に季節の植物で寄せ植えを楽しむ。集まった参加者とボランティアさんとで情報交換したり、ケアプラザの役割や自主事業の紹介をする。</p>	●6月、12月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディックウォーキング講座	<p>【目的】 介護予防の一環として、エリア内でのノルディックウォーキングの普及を目的とする。</p> <p>【内容】 ノルディックウォーキングのやり方を復習し、皆で保土ヶ谷公園を歩きます。体力に自信の無い方のようなコースも作り、初めてでも無理なく実施できる工夫もしています。</p>	●5月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ダンベル体操	<p>【目的】 介護予防の一環として、まだ元気な高齢者でも楽しみながら、筋力アップの出来る体操を実施します。最終的には年内の自主グループ化を目指します。</p> <p>【内容】 外部の講師に依頼し200gの玄米ダンベルを使った、ストレッチや体操を実施。少し負荷をかけながら、筋力アップを目指します。</p>	●毎月第4金曜日 (9回)